

建設新聞 2019年10月18日

村山地域エネルギー戦略推進協

高効率帯水層蓄熱など紹介

地中熱の未来テーマに講演会

県村山総合支庁と同庁管内市町などで組織する村山地域エネルギー戦略推進協議会は15日、県村山総合支庁で再生エネルギーに関する講演会を開催した。講師は日本地下水開発の桂木聖彦専務取締役。「再生可能エネルギー『地中熱の未来』〜私たちの足元に



講演する桂木氏

眠る地下水熱(地中熱)』と題した講演では、約50人の聴講者に対して、積雪寒冷地の東北地方において同社が開発した家庭用無散水消雪システム「ジョサネ」の設置状況のほか、省エネと二酸化炭素削減に効果を発揮する地中熱利用システムについてスライドを交えて解説した。また、秋田大学や独立行政法人・産業技術総合研究所の協力を得て開発した帯水層蓄熱冷暖房システムについても紹介し、高い関心を集めた。